

平成30年度予算 教育委員会 主要施策

教育委員会では、市長と教育委員会で共有した「北九州市教育大綱」の方向性に沿って、子ども一人一人の個性を踏まえながら、市民総ぐるみで、本市の未来を担う子どもたちの心の中にシビックプライドを醸成する取組みを推進します。

「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に基づき、学校、家庭、地域それぞれがもつ教育力を発揮し、連携して子どもの教育を着実に推進するとともに、現プランが平成30年度に終了することから、次期計画の策定を進めます。

平成30年度は、学校施設老朽化対策、次期学習指導要領への対応、子ども図書館の整備、教員が子どもと向き合う時間の確保など、教育環境の向上を図ります。

I 心の育ちの推進・シビックプライドの醸成

1 北九州市小学生合唱フェスティバル

II 学力・体力向上に向けた取組み

2 小学校英語教育の充実

3 小学校プログラミング推進事業

4 学校の読書活動推進事業

5 子どもひまわり学習塾事業

6 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント事業

III 特別支援教育の充実

7 特別支援教育を推進する体制の充実

8 音声教材等活用推進事業

9 小池特別支援学校整備事業

10 小倉総合特別支援学校整備事業

11 特別支援学校スクールバス運行体制の整備

IV 信頼される学校運営の推進

12 「チーム学校」運営・推進事業

13 スクール・サポート・スタッフの配置

14 部活動振興事業

15 kitaQ せんせいチャンネルを活用した人材育成事業

V 教育環境の整備

16 学校施設老朽化対策事業

17 小中学校等空調設備整備事業

VI 図書館の整備、機能の充実

18 子ども図書館整備事業

19 「本の通帳」(読書記録) システム整備事業

VII 次期教育プランの策定

20 次期教育プラン策定業務

教育委員会総務部企画調整課

担当(用田・藤田) TEL: 582-2357

※個別の事業の内容については、各担当課へお尋ねください。(P6参照)

I 心の育ちの推進・シビックプライドの醸成

1 新 北九州市小学生合唱フェスティバル 1,000 千円

小学生の文化活動を発表する場を広げ、子どもたちの豊かな情操をはぐくむとともに、本市の文化的風土（「合唱の街・北九州」）を醸成するため、新たに小学生の合唱フェスティバルを開催する。

II 学力・体力向上に向けた取組み

2 小学校英語教育の充実 239,723 千円

小学校において、外国語指導助手（ALT）の活用を推進するとともに、次期学習指導要領における英語教育の早期化に向けて、小学校教員の授業力向上を図るため、英語に堪能な日本人指導助手（日本人ALT）を小学校に配置する。

【事業内容】

○学校支援のための講師配置事業の一部（日本人ALT分） 【50,085 千円】

日本人ALT配置人数：1名 ⇒ 15名

○外国人ALT配置に係る経費 【189,638 千円】

外国人ALT配置人数：44名

3 新 小学校プログラミング推進事業 3,500 千円

小学校の中から3校程度を募集し、技術的サポートを行う事業者と共に、次期学習指導要領に示されたプログラミング教育の研究・開発を実施する。

4 学校の読書活動推進事業 131,591 千円

子どもたちが読書に親しむ環境を整え、学校図書館の利用を促進するため、中学校区及び特別支援学校に配置する学校図書館職員を拡充し、学校における読書活動を一層推進する。

【事業概要】

《H29 年度》		⇒	《H30 年度》	
	学校図書館職員			学校図書館職員
中学校区	43 名		中学校区	<u>49 名</u>
特別支援学校	1 名		特別支援学校	1 名

5 子どもひまわり学習塾事業 170,000 千円

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を実施する。

6 新 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント事業 10,000 千円

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて、子どもたちが一流のスポーツ選手と直接触れ合うことなどを通して、オリンピックやパラリンピックについての理解を深める機会を提供し、オリンピック・パラリンピック教育を推進する。

【事業概要】 推進校（予定） 30校・園

Ⅲ 特別支援教育の充実

7 特別支援教育を推進する体制の充実

〈一部再掲〉395,961千円

特別支援教育介助員や特別支援教育学習支援員、スクールカウンセラー等を拡充配置・活用し、特別支援教育に係る相談機能や支援体制の充実を図るとともに、就労支援コーディネーターの配置・活用などにより、将来の自立や社会参加に向けたきめ細かな就労支援を進める。

【事業内容】

- 「特別支援教育介助員」の配置【35,514千円】
配置人数：21名 ⇒ 26名
 - 「特別支援教育学習支援員」の配置【68,158千円】
配置人数：19名 ⇒ 37名
- ほか8事業【292,289千円】

8 **新**音声教材等活用推進事業

1,000千円

読み書きが苦手な児童生徒が障害の有無に関係なく平等な教育を受けることができるよう、新たに音声教材等を整備し、教員が教材を活用し、障害の状態や特性を踏まえた適切な指導を行えるよう体制を整備する。

9 小池特別支援学校整備事業

30,000千円

本市西部地域における知的障害のある児童生徒の増加への対応及び老朽化した校舎・運動場の狭隘化等の課題を解消するため、小池特別支援学校の整備にかかる基本設計に着手する。

10 小倉総合特別支援学校整備事業

154,800千円

(他に債務負担 320,300千円)

小倉総合特別支援学校の校舎等として活用するため、総合療育センター移転後の東棟の改修工事等を実施する。

11 特別支援学校スクールバス運行体制の整備

248,430千円

(他に債務負担 183,000千円)

特別支援学校スクールバスの利用者数増加に伴い、乗車時間の長時間化や乗車人数の過密化が喫緊の課題となっているため、車両の増車等により運行体制を整備する。

【事業概要】

	《H29年度》		《H30年度》		《H31年度》
スクールバス運行台数	20台	⇒	<u>21台</u>	⇒	<u>22台</u>

IV 信頼される学校運営の推進

12 「チーム学校」運営・推進事業

261,868 千円

学校を取り巻く環境が複雑化し、さまざまな教育課題への対応を迫られる中、特に生徒指導上の諸問題に対応するため、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなど専門性を持つスタッフを整備し、教員とともに一つのチームとして学校の教育力を高める。

(注1) スクールソーシャルワーカー

社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有し、不登校や暴力行為などに対応するため、児童生徒が置かれた家庭環境に働きかけたり、関係機関との連携の強化を図る職員。

(注2) スクールカウンセラー

児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有し、児童生徒へのカウンセリング等を行う職員。

【事業概要】

スクールソーシャルワーカー配置人数：12名

平成30年度はリーダー職を新設する

スクールカウンセラーの配置：全62中学校・特別支援学校等に配置、全小学校に派遣

平成30年度は配置時間を拡充する（小学校は4割増）

※小学5年生への全員面接を新たに実施

13 新スクール・サポート・スタッフの配置

32,000 千円

教員の多忙感の要因となっている事務処理をサポートするスタッフを小学校に配置し、教員に代わって資料印刷や配布物の仕分けなどの事務を行うことで、教員の負担軽減を図り、教員が児童への指導や教材研究に注力できる体制を整備する。

【事業概要】 スクール・サポート・スタッフ配置人数：0名 ⇒ 40名

14 部活動振興事業

90,672 千円

教員の負担軽減と部活動の振興を図るため、部活動の顧問教員をサポートする「外部講師」や、顧問教員に代わって単独での指導や引率等の業務を行う「部活動指導員」を配置するとともに、部活動指導の外部への委託をモデル的に実施する。

【事業概要】

部活動指導員：15名 ⇒ 19名

15 新kitaQせんせいチャンネルを活用した人材育成事業

6,000 千円

次期学習指導要領に対応した授業づくりのポイントを学ぶ動画や、WEB研修のための動画を作成・配信することで、自己研修の支援や教員が子どもと向き合う時間を確保し、教員の人材育成を推進する。

V 教育環境の整備

16 学校施設老朽化対策事業 744,300 千円

※平成 29 年度 2 月補正予算 (4,864,300 千円) と合わせ、5,608,600 千円の事業費を計上
学校施設の老朽化に対応して、既存の学校施設を安全で安心な状態で利用できるよ
うに建築年度に応じた改修計画をたて、大規模改修（長寿命化改修）や、外壁改修な
どを実施する。

【事業内容】

○大規模改修事業	153,900 千円
○外壁改修事業	127,000 千円
○消防設備整備事業	300,000 千円
○埋設給水管及び消火管改修事業	57,400 千円
○法面改修事業	106,000 千円

17 小中学校等空調設備整備事業 65,000 千円

※平成 29 年度 2 月補正予算 (784,000 千円) と合わせ、849,000 千円の事業費を計上
良好な学習環境を確保するため、小学校の普通教室や幼稚園にエアコンを整備する。

【事業概要】

設置工事 小学校 20 校、幼稚園 4 園等

※平成 30 年度で全小中学校の普通教室への整備を完了

VI 図書館の整備、機能の充実

18 子ども図書館整備事業 424,600 千円

子どもの読書活動の推進拠点となる「子ども図書館」について、平成 30 年度内の
開館に向けて、改修工事、備品購入等を実施する。

19 「本の通帳」(読書記録) システム整備事業 5,000 千円

子どもに読書を楽しみと感じさせ、子どもの読書習慣を形成するため、「本の通帳」
システムの導入に着手するとともに、高校生以下の希望者に通帳を配布する。

VII 次期教育プランの策定

20 ⑨次期教育プラン策定業務 2,500 千円

現行の『北九州市子どもの未来をひらく教育プラン』の計画期間が、平成 30 年度
で満了することから、次期計画の策定に着手する。

教育委員会主要施策に関するお問い合わせ先

	主要施策（事業）名	主担当課
1	北九州市小学校合唱フェスティバル	指導第一課（582-2368）
2	小学校英語教育の充実	指導第一課（582-2368）
3	小学校プログラミング推進事業	指導第一課（582-2368）
4	学校の読書活動推進事業	指導第一課（582-2368）
5	子どもひまわり学習塾事業	学力・体力向上推進室（582-3445）
6	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント事業	学力・体力向上推進室（582-3445）
7	特別支援教育を推進する体制の充実	教職員課（582-2372） 特別支援教育課（582-3448）
8	音声教材等活用推進事業	特別支援教育課（582-3448）
9	小池特別支援学校整備事業	企画調整課（582-2357）
10	小倉総合特別支援学校整備事業	企画調整課（582-2357）
11	特別支援学校スクールバス運行体制の整備	学事課（582-2378）
12	「チーム学校」運営・推進事業	指導第二課（582-2369）
13	スクール・サポート・スタッフの配置	教職員課（582-2372）
14	部活動振興事業	指導第二課（582-2369）
15	KitaQせんせいチャンネルを活用した人材育成事業	教育センター（641-1775）
16	学校施設老朽化対策事業	施設課（582-2361）
17	小中学校等空調設備整備事業	施設課（582-2361）
18	子ども図書館整備事業	企画調整課（582-2357）
19	「本の通帳」（読書記録）システム整備事業	中央図書館奉仕課（571-1481）
20	次期教育プラン策定業務	企画調整課（582-2357）